



かっ 跳び 戦隊 ☆ 縄 レン ジャー  
上 壱 分 方 小 学 校

「縄レンジャー！」の元気が、子どもたちの掛け声で登場してくれたのは個性豊かなルックスの五人のメンバー達でした。

九月十日、上壱分方小学校の体育館において縄跳びのプロのグランプである縄跳びのレンジャーをお迎えしてのロープパフォーマンスショーが行われました。

縄跳びは、全国の小学校で縄跳び出演、指導を行つており、その数は、三〇校を超えるそうです。

縄跳びチャンピオンもいて五人の多彩なロープアクションの数々に圧倒され、スピード感、身軽さ、技に「すごいーかっこいい」と体育館の中は歓声があがり最後まで目が離せませんでした。

そして、リズム感、表現力、持久力とどれを取ってもすばらしく子どもたちだけでも楽しく見てくれるだけではないくらい大人達も引き込まれてしまいました。また時には笑いもあり、バラエティにのんだ四十五分間でした。縄跳びの基本的な指導に始まり、回りの説明に子ども達も納得しやすい説明に子ども達も納得も一緒にロープ

代表の子どもたちによる三十秒スピードコンテストも披露する頃、成果を大勢の前で披露するのは恥ずかしそうでしたが皆の声援の中で頑張れたので出場した子どもたちには良い経験になったことと思います。そして、なんといつでも参加者が一番魅了されたのは一本のロープを使ったパフォーマンスのダブルダツチです。みんなで気持ちを一つにしないと成功させるのは難しいことからみても、すごい量の練習の積み重ねと縄跳びが大好きな気持ちが伝わってききました。

縄跳びは誰でも気軽に楽しめるので、体の動かし方、期待できる運動の向上も組みこまれるので、運動でも有意義な時間を過ごすことと思えます。

次の日、休み時間の校庭で縄跳びの姿が目立ちました。



け や き 祭 と 創 立 三 十 周 年 式 典  
元 木 小 学 校

元木小学校創立以来、毎年秋に行つていきました。今年も、十一月二十三日開催されました。各クラスよりけやき委員を一名ずつ選出しボランティアを募り、六月から準備を進めてきました。公園で行うゲームの内容、安全確認ポイントに立つ人の配置、得点集計係、豚汁班、バザー班に分かれて活動します。

ウオーケラリーの周辺の各御家庭には、「当日お騒がせ致しますが、ご理解とご協力をお願いいたします。」のお手紙を郵送いたしました。

「お騒がせ致しますが、ご理解とご協力をお願いいたします。」のお手紙を郵送いたしました。

今年、P.T.A.バザーも開催という事で、用品の提供をお願いしました。けやき祭当日は、小春日和の中、例年を上回る人数の方が参加され、楽しんでいただけました。

七〇〇食分用意した豚汁もすぐになくなってしまいました。父兄が、校長先生をはじめ担任の先生や地域の方々と一緒に成つて豚汁を食べられている姿は、この感じます。

そして今年も、元木小学校創立三十周年の年にあたり、十一月二日に三十周年式典が行われました。

当日に向けて着々と準備が進められ、記念誌の作成、航空写真の撮影、記念品選り、式典の内容等々、けやき祭と違い経験者が居ないので、手探り状態でも何度も打ち合わせをし、当日は素晴らし式典になりました。

元木小学校創立以来、毎年秋に行つていきました。今年も、十一月二十三日開催されました。各クラスよりけやき委員を一名ずつ選出しボランティアを募り、六月から準備を進めてきました。公園で行うゲームの内容、安全確認ポイントに立つ人の配置、得点集計係、豚汁班、バザー班に分かれて活動します。

ウオーケラリーの周辺の各御家庭には、「当日お騒がせ致しますが、ご理解とご協力をお願いいたします。」のお手紙を郵送いたしました。

今年、P.T.A.バザーも開催という事で、用品の提供をお願いしました。けやき祭当日は、小春日和の中、例年を上回る人数の方が参加され、楽しんでいただけました。

七〇〇食分用意した豚汁もすぐになくなってしまいました。父兄が、校長先生をはじめ担任の先生や地域の方々と一緒に成つて豚汁を食べられている姿は、この感じます。



式典では元木小学校の児童が参加して宝生寺はやし連

子供も大人も楽しめるおまつりを  
はちっこまつり  
元八王子小学校

元八王子小学校の今年度のPTA行事は、「はちっこまつり」と題したおまつりを、元八小地区サタデースクール運営委員会との共催で、六月九日に開催しました。これまで、元八小には子どもたちが楽しめるお祭りがありませんでした。また、昨年は七年にわたりアメリカ・コロラド州のダン小学校の皆さんが来校される年にあたり、皆さんの歓迎行事をかねて、子どもも大人も皆さんに楽しんでいただけたお祭りを行事になりました。子どもたちの地域の方々や児童会、PTAが設けられ、主には「昔あそび」を、PTAは緑日を、児童会はダンボール迷路を、またお父さんたちは焼きそば等の食べ物、それぞれ担当を立って、また、お餅つきやお茶を立て、日本の伝統を堪能して、当日は、小雨の降るあいにくのお天気だったにも関わらず、

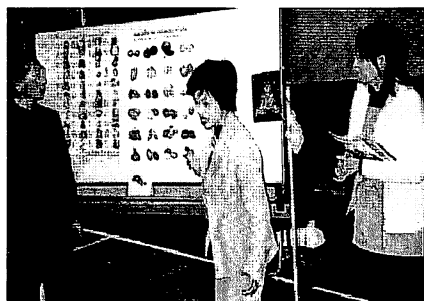
大勢の皆さんに足をお運び頂き、大盛況の一日になりました。また、後日のアンケートでも「楽しかった」のお言葉を沢山頂戴しました。こうして皆さんに楽しんで頂く事で、当初の目的は達成されましたが、改めて振り返ると、PTAと地域と子どもたちが一緒に成し遂げられたところにも大きな意義があらうように感じます。



小さな国際交流  
みんなちがってみんないい  
恩方第一小学校

恩一小の今年度のPTA行事は、十二月一日(土)に、八王子で暮らす外国人と、異文化交流の体験を行いました。当日は、ドイツ人二名とタイ人一名が来てくださり、参加した子ども達とその保護者は、低学年、中学年、高学年の三つのグループに別れ、ドイツ紹介コーナー(二ヶ所)、タイ紹介コーナー(一ヶ所)を十分交代で回り、様々なお話しを聞いたり、質問したり、ゲームをしたり、それぞれの文化に触れ合うひと時は、PTA役員が朝からお昼まで、レシピや料理など、家庭料理を作った、ドイツ人から、家庭料理を皆で食べました。タイからは春雨のスパイス、タイダ、三色団子のスパイス、タイクダ、デザートで、どれも栄養のバランスが良く、それぞれの食文化を感じられる逸品でした。子どもたちにはこの様な体験を通じ、お互いの存在やその言葉が違っても、外国の色が違っていても、共生の気持ちを持ちたいと思いを長

恩一小では、毎年何をしようか、沢山悩み考えるPTA行事です。これから子どもたちの健全な成長を願い、子どもたちが笑顔で参加できるものを考え、創って生きたいと思っております。



PTA行事は親子共々  
恩方第二小学校

恩方第二小学校では、小学生も参加し、親子共々楽しめる行事を行っています。そこでこの学期には、「科学物質過敏症」というお母さん、講師としてお招きし講演していただきました。はじめに、「科学物質過敏症とは、身のまわり存在している様々な種類の科学物質に反応して苦しむ環境病。誰でも起こせる発症し、大脳辺縁系に生じてきたし、からだをうまくコントロールできなくなる。科学的に発症すると、わずかな科学物質に反応してしまい、普通の生活を送る事さえ、困難になつてしまふ病気で、とご説明いただきました。

すでに宇宙船地球号で「Dear地球様十六歳からの手紙」として放映されました。自然環境に恵まれた恩方第二小学校は、自然環境に恵まれた恩方第二小学校に化学物質過敏症とわが卒業生から通学することが出来なくないです。卒業生が卒業式の席に出席したいと本人の強い要望もあり救急搬送などで席を空けてお話をしたいです。子供たちも想像できたのでしよう。

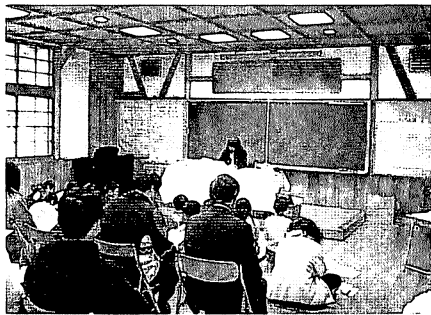
真剣な眼差しで聞いておられました。講演会の後半には、身体の仕組みについてお話してくださりました。

「至って健康な私達が当たり前の生活に寝て、当たり前のよう食事をとり、当たり前のようにトイレで用をします。一つ一つの行動に飽きがこないよう身体は作られています。腸に見立たたれていいます。」

「お話ししていたら、沢山の道具でからだの仕組みについておしえていただきました。今回の講演は、親子共々の心に残りこれからの生活に役立つ環境も大きな問題となり、地球の環境もこの問題か？」

「どの様な事に気がつくのか？」

「児童及び、児童生活者の心に残り生活して役立つPTA行事として多く探り考えてお



みんなの笑顔が光ります!  
式分方小学校

式分方小学校では、PTA発足時より毎年ウォークラリーを開催しています。例年、校庭・学校裏手の遊歩道・近隣の公園を利用し開催しています。今年度はあいにくの雨となり、初めて室内での開催となりました。参加人数は毎年増えており、今年度は児童・未就学児・先生方・保護者を合わせ300名を超える参加がありました。

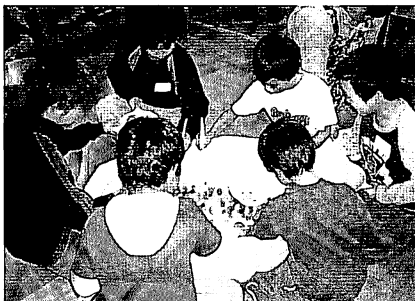
子供たちは、男女別で一年生の縦割りのチームに分かれ、実行委員が考えたゲームやクイズに挑戦してきます。当日まで子供たちはチームのメンバーやゲームの内容は知らせず、当日受付で初めて一緒に回るチームメイトと顔を合わせます。全く知らない同士の子供たちも、協力し合いゲームをこなしていくうちに打ち解け、上級生は自然と下級生の面倒を見るようになります。そして、下級生はそんな上級生を見て「自分もいつか上級生のようになりたい。」と思うようになります。

「そうしてチムス一丸となり優勝を目指します。ゲームは、より高く缶を積んだり、水に浮かべたボールをお箸やお玉ですくつたり、

平均台の上をポールを転がすのが楽しめるといいます。また、先工場で、スタッフが歩いて生方にクイズを持って歩いただき、ゲームを回しながらクイズに答えいきます。午前中は、お弁当を食べ、保護者が昼食にはお手をいただきます。一生懸命ゲームで遊んだ後の豚汁は、いつもおいしく、みんなたくさん食べてくれます。

「毎年新しいゲームを考えたり、当日まで準備することもあり、子供たちの笑顔や元気のいい声、手伝つてくださる先生方、保護者のみなさん、ありがとうございました。」

「お話しした時の達成感、格別です。これからも、児童生活者の心に残り生活して役立つPTA行事として多く探り考えてお



サイエンスカフェの模様  
二〇〇七年十一月二日

るた理葉しず  
程。学ったか\*  
とな楽って少と  
るい難ない思  
話ですく感  
ありふえて  
まむふむ  
。む、し  
。な心

感ろい  
の、・  
あるし・  
と付物今・  
けりは・  
のりお  
ないで  
どなし  
こいろ  
かと  
とこ  
距離

加ほで言らチでの  
さどすを参加の  
れた盛。し参加の  
た況。三学がの  
方で時間間を、  
のした深ど飲  
感短めんみ  
想をく感い  
を載じく  
せにら交  
せ当れ流  
す日れ会  
。参る

も他納か  
納人得\*  
。のた。眠  
。良。自  
い良に  
関結も  
係果身  
がを生  
大事む  
とむえ  
いたが  
うめあ  
り話の

でこ時な  
すそ助ら  
。ねけな  
。びてい  
。頑張  
りくる  
たいま  
。さ周  
。思に  
。いそ  
。通の  
。り人

いたす感  
ま。の  
。じ  
。間本  
。のに  
配あ  
。が来  
もが  
。良  
。か  
。つ  
。た  
。お  
。し

いきても  
まるみ  
。し  
。ア  
。思  
。い  
。あ  
。が  
。と  
。う  
。ご  
。で

たがを  
。成よ  
。あ長  
。りで  
。がき  
。とだ  
。うら  
。ござ  
。いじ  
。まし  
。し  
。身

言身  
葉に  
。も  
。し  
。た  
。か  
。力  
。湧  
。い  
。て  
。く  
。分  
。自

す機  
。会  
。は  
。初  
。め  
。で  
。カ  
。ラ  
。シ  
。カ  
。っ  
。た  
。う  
。で



すてり  
。に  
。つ  
。な  
。ど  
。お  
。も  
。し  
。ろ  
。か  
。た  
。で

# 大変珍しいPTA行事の紹介

しめ縄(注連縄)作り  
長沼小学校

長沼小学校は、都立長沼公園に隣接し、自然を生かし感性を高める体験学習をしています。花作り、野菜作り、水田での田植えからの稲作り、そしてしめ縄作り等、豊かな自然と、地域の方々の協力により、いろいろな体験学習をします。生きる知恵、生きる力を育んでいきます。

昨年一月五日(土)、しめ縄作りが行われました。これはPTA活動として六年生の親子での活動で、このしめ縄作りは、今年で二十四回目を数え、毎年師走の長沼小の伝統行事となつていきます。

しめ縄作りは、親と子共同の作業でしめ縄を飾り、親がしめ縄の由来、飾りの意味などを説明を聞き、日本の伝統的文化に触れることができ、日本の伝統文化に慣れることができています。

また昔の風習(お正月を迎える準備)や、八王子という地域でも随分と習慣の違いがあることなどしめ縄作り以外にも多くのことを教えていただきました。

自分で作ったしめ縄を飾り、お正月を迎えるなど、今の生活では考えられない事でした。



地域の皆様のご厚意により、毎年このような活動が出来ますこと、子どもが長沼小に通つていて本が良かつたなアと思ひました。

初めてしめ縄作りに参加した児童は、「難しいかつたけど、やってみると、だんだん楽しくなりました。親と協力して作れるかなどと、考えて見なかつたけど、実際に作ってみると、意外と難しかったです。手作りのしめ縄を飾れてよかったです。」など感想を寄せています。

親子で悪戦苦闘しながらのしめ縄作りの体験は、きつと小学校での良い思い出となることでは、しめ縄作りという長沼小の特色ある伝統行事は、これからも続いていきます。

## 編集後記

今年度最後の発行を担当させていただきました。各学校ごと特色あるPTA行事を取り組んでいる様子を知らせていただきました。あらためて私たち保護者と学校そして地域との関わりを感じました。

これからは三者が一体となり子供たちのために活動していくことができればと思います。

第三ブロック広報担当

小P連だより第39号担当

- ★第三ブロック★
- 元八王子東小・上巻分方小
- 元八王子小・式分方小
- 元木小・恩方第一小
- 恩方第二小

# 号外！！「ピーポくんの家」キャンペーン報告

安全・安心のコミュニティづくりを目指す。  
八王子防犯協会・高尾防犯協会  
共催「ピーポくんの家」キャンペーンの紹介

## キャンペーンの目的と趣旨

学校・保護者・地域が三位一体となつて、安全で安心して生活ができる、子どもたちの育成環境の安定化を図ると共に安全・安心のコミュニティづくりを目指す。

「ピーポくんの家」は児童や生徒が危険な目に遭つた時、駆け込めば守ってもらえる避難場所であり、また犯罪者やその予備軍に対し最良の抑止力になる方策として考えられます。地域の特性に合わせた様々な取り組みによって「地域と学校と保護者と子どもたちが感謝と信頼の輪」を広げ「学校・地域全体の安全性が高まることを目的としてつくられた事業です。

今回の趣旨にあるように、広く告知活動を行うため、同じ安全・安心を考える他団体、防犯協会合同キャンペーンの依頼をして、「ピーポくんの家」の事業また地域の安全を広めていきたいと思ひます。



## 各キャンペーン開催会場

第一ブロック会場・八日町の（みずき通りフェスティバル）に合せて放射線通り会場内でキャンペーン活動を行いました。

第二ブロック会場・加住市民センター祭り・スーパーアルプス榎原複合店と二箇所にてキャンペーン活動を行いました。

第三ブロック会場・恩方市民センター祭り・スーパーアルプス横川店と二箇所にてキャンペーン活動を行いました。

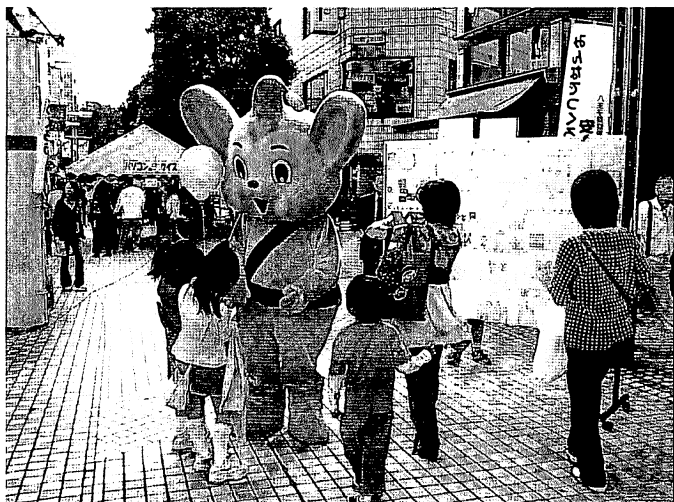
第四ブロック会場・八王子いちよう祭りに合わせ高尾警察前にて防犯協会の方々とキャンペーン活動を行いました。

第五ブロック・南大沢駅前広場にてキャンペーン活動をして駅利用者にも広く「ピーポくんの家」をアピールしました。

## キャンペーン事業内容

今年度も八王子防犯協会・高尾防犯協会・各地域の方々・八王子、高尾警察や地域企業のご協力によりキャンペーンを開催し広く市民に「ピーポくんの家」を知って頂き子どもたちの安全を呼びかけることができました。

各会場では「ピーポくんの家」の横断幕・旗を掲げ「ピーポくんの家」のシンボルマークがデザインされたウエットティッシュ・チラシまた防犯協会提供のチラシや防犯グッズなどを防犯協会並びに地域の方々や保護者、児童にて配布をしました。会場には各小学校の児童の描いた「ピーポくんの家」地域の方に感謝を含めた絵又は作文をパネルに展示をしました。



協力依頼先： 八王子・高尾防犯協会／八王子・高尾警察／各地域町会の方々／八王子市教育委員会